

中学校給食推進の次世代明石が 補正予算に反対した理由

～多量の産業廃棄物処分費5.2億円借金を否決～



最初から用地を決めていた

藤江の卸売市場駐車場、八木の保守基地用地など、広く検討する必要があった。

調査や情報共有が不十分だった

交通部跡地は元々池であり、そこに廃棄物等を捨てていたのは明石市。土地が軟らかいことも多くの人知っていた。

3,000㎡もの建築面積なのに2カ所しかボーリング調査をしなかった

結果的に不十分であった。

調査結果(土地の固さ)から産廃が埋まっている可能性に考えが及ばなかった

産廃が見つかった後に地盤改良の杭を打った

多量の産廃を見つけたのに杭を打ち、工事費や撤去費が膨れ上がった。後戻りができないように既成事実を作ったのではないかと疑われる。

産廃を見つけてから議会へ報告するまで1カ月

議会開会中にも関わらず報告しなかった。報告すると都合が悪かったのだろうか。

正確でない答弁(県への相談)

建てなくても除却が必要→建てるなら除却が必要→建てなくても除却が必要は市の解釈
次世代明石の調査では、除却しないことも可能です。

H23年 12月
H25年
H26年 7月 3日
9月 8日
9月16日～27日
10月 7日
10月23日

- 議会の市長答弁
「交通部跡地(和坂)、1万食、ジャストサイズ・ジャストタイミング」
- 設計のためのボーリング調査(2カ所)
- 工事着手
- 多量の産業廃棄物が確認される
- 地盤改良のための杭打ち工事
- 市議会(文教厚生委員会)に報告
 - ・土地6,100㎡のうち建築面積3,000㎡の産廃処理に5.2億円と説明(金利含めると6.3億円)
 - ・「産廃が見つかったら、建物を建築してもしなくても除却が必要」と副市長の答弁

市議会にて補正予算を否決

- 賛成(14)：公明党、真誠会、朋志会、民主連合の1人
- 反対(15)：次世代明石、政和会、市民クラブ、共産党、民主連合の1人、日本創新党明石

- 次世代明石提案**
- 今後①：敷地全ての土壌汚染を調査すべき
 - 今後②：交通部跡地以外の給食センター用地を検討すべき
 - 今後③：センター方式とする現行計画以外の方式も再検討すべき

